

TOKYO DARTS OPEN for TEAM

試合進行・ルール・注意事項など



【ゲームオーダーの記入～試合開始】

- ・試合前にリザルトシート(黄色い紙)を縦に切り、左右それぞれにゲームの出場選手と順序(チームオーダー)を記入する。
- ・ゲームオーダーの記入がお互いに終わったらお互いに開示して、スコアシートに転記しながらゲームを始める。
(決勝ではスコアラ-の人がオーダーを受け取って対応する)
- ・開示後のゲームオーダー変更は明らかな書き間違いの訂正を除き禁止。
- ・各ゲームの開始前は一人2スローまでの練習スローが可能。相手が来ていない間は練習を続けていてよい。

【予選】

- ・予選はラウンドロビン。試合順は下記の通り。

左側ボード	右側ボード
1-2	3-4
1-3	2-4
1-4	2-3

- 各ロビンごとに2ボードを割り当てるので、連続して試合が可能。試合可能になったらすぐに試合を始める。
- ・ゲーム順序はダブルス1、ダブルス2、ガロンの順。シングルスはない。
- ・ポイント制なのですべてのゲームを行う。勝った場合、ダブルス2ポイント、ガロン3ポイントを得る。
- ・スコアラ-は、両チームで手の空いている人が交代で対応する。
(両チーム4名しかいない場合、ガロンは投げる順番が遠い人がスコアを書く)
- ・1Leg終了ごとにリザルトシートに上がり本数を記入。トン数などの記入は不要。
- ・1試合が終了したら、リザルトシートのスコアを確認し、両チームキャプテンがサイン。
結果をロビン表に記入後、リザルトシートとスコアシートをコントロールへ提出。
- ・サイン後の訂正は原則不可能。訂正する場合は、相手の了承を得ること。
- ・すべての試合が終わったら、ロビン表にポイントや順位を記入してコントロールへ提出。

【予選通過条件】

- ・各ロビン上位2チームは無条件通過。3位は成績順に数チームが通過。
- ・ロビン順位は下記の順で決定
ポイントの高い順
直接対決の勝者
勝ちレグ数が多い方
勝ちレグ数一負けレグ数の差が大きい方
ガロンのダーツ数が少ない方
ダブルスのショートダーツが少ない方
(3位の決定順序は直接対決を除いて上記と同じ)
- ・予選を通過できなかったチームは決勝初戦のスコアラ-をお願いします。決勝一回戦まで帰らないでください。
(決勝のスコアラ-は2名づつ必要になります)

【決勝】

- ・決勝はシングルイリミネーショントーナメント
- ・シングルス4ゲーム、ダブルス2ゲーム、ガロン1ゲームの順で行い、4ゲーム先取で試合終了。
- ・1試合2ボードを使い、2ゲーム同時進行。途中で勝負がついた場合、終わっていない方のゲームは打ち切り。
- ・3対3になった場合、どちらかのボードでガロンを行う。
- ・ゲームが終了ごとにリザルトシートに上がり本数を記入(スコアラ-が行う)
- ・試合終了後、リザルトシートに両チームのキャプテンがサイン。
両チームの代表者が揃ってコントロールへリザルトシートとスコアシートを提出。
敗者はスコアラ-待機カードを受け取って、スコアラ-の呼び出しを待つ。スコアラ-は2名を決めておくこと。

【ゲームフォーマット・ルールなど】

- ・ガロンは1001点、エニ-スタート、ダブルアウト、90ダーツリミット
- ・ダブルスは501、ダブルイン、ダブルアウト、45ダーツリミット
- ・シングルスは、501、エニ-スタート、ダブルアウト、45ダーツリミット
- ・すべてのゲームの先行・後攻はジャンケンで決める。ジャンケンの勝者がそのまま最初のレグを先行で投げる。
- ・その後は交互に先行し、フルレグになった最終レグのみ、ミドルで先行・後攻を決める。
- ・最終レグの順序決めミドルは、スタート時のジャンケン勝者が先投げ。
(チーム戦は1レグなのでジャンケンの勝者からミドルを投げて先行決め)
- ・いずれのゲームもリミットに達した場合は、ミドルで勝者を決定。
- ・ガロン、ダブルスのミドルを投げる人は出場選手であれば誰でもよいが、アゲインでの交代はできない。
- ・ミドルのアゲインは順番を入れ替える。アゲインの際は盤面のボードを必ず抜いてから投げる。
- ・ダブルスの投げる順序はレグ毎に入替可能。入れ替えの際は、スコアラ-と相手チームに申告すること。